

TECデモ【IMSログの有効活用】

～パフォーマンス分析からトランザクション追跡まで～



IMSのログには、IMSシステムの活動に関するあらゆる情報が詰まっています。このIMSログを分析して多種多様な統計レポートを出力するIMS Performance Analyzer と、IMSログを直接フォーマットして表示するIMS Problem Investigator について、デモを交えてご紹介します。

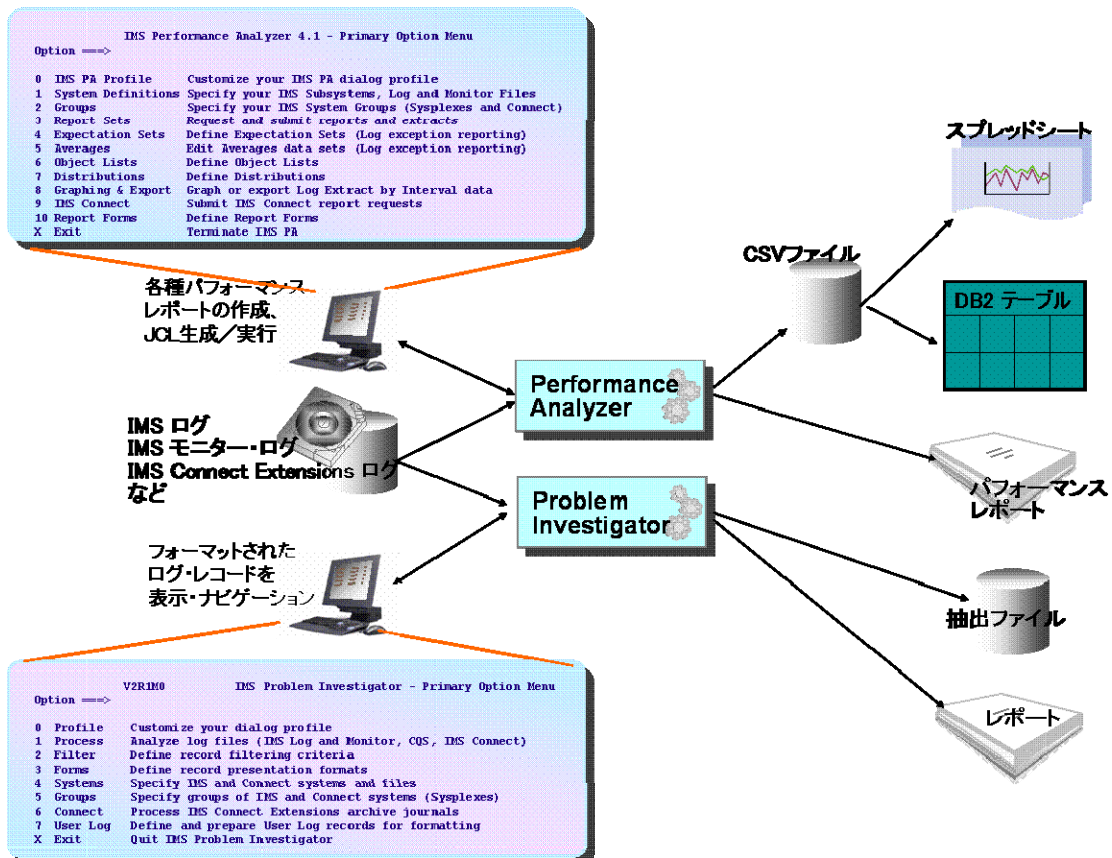
【こんなことでお悩みではありませんか】

- 応答の遅いトランザクションの原因を調べたい。IMSシステム資源全体の状況を知りたい。
- 必要なパフォーマンス・レポートを作成するために、既存のレポートから数値を都度拾い出すのが大変。
- 特定のログ・タイプの特定のフィールド値のみ効率的に抽出したいが、プログラムを書くのが大変。
- 特定のトランザクションの追跡調査をしたいが、どのようにログを追えばよいかかわからない。

【デモの価値】

- IMS Performance Analyzer の豊富なレポート作成機能により、IMSログに含まれる膨大な情報を分析し、40種類以上・100項目以上の多種多様な統計レポートを出力してパフォーマンス分析に役立てることができることをご理解いただけます。
- IMS Problem Investigator の強力なナビゲーション機能により、大量のIMSログの中から必要な情報を迅速に取り出し、特定のトランザクションの追跡や、条件指定によるログ抽出が容易に行えることを実感いただけます。

IMS Performance Analyzer と IMS Problem Investigator



<デモ内容のご紹介>

IMS Performance Analyzer と IMS Problem Investigator の製品概要のご紹介の後、次のデモを行います。

【デモの流れ】

- IMSシステムにログオンし、いろいろな方法でトランザクション実行やデータベース更新を行います。(3270端末、IMS Connect経由、WebSphere Classic Federation 経由)
- IMSログをアーカイブし、それを入力にしてIMS Performance Analyzer のバッチ・ジョブで各種レポートを出力します。次に、ISPFからIMS Performance Analyzer メニュー画面に入り、レポート・オプションやレポート・フォーマットの変更が容易にできることをお見せします。
- ISPFから IMS Problem Investigator メニュー画面に入り、IMSログの中をフォーマットして閲覧します。次に、任意の文字列検索でトランザクションを特定し、関連アクティビティのログのみ表示させて追跡の様子をお見せします。

< IMS Performance Analyzer の機能ハイライト >

- IMS ログ、IMS モニターログ、IMS Connect Extensions ログを入力とし、トランザクション応答・DBアクセス状況・システム資源使用状況・プログラム・トレースなど、各種のパフォーマンス・レポートを出力します。
- 全てのトランザクション・タイプについて、end-to-end の経過分析が可能です。(共用メッセージ・キュー環境やIMS Connect経由のトランザクションも含む)
- レポートのカスタマイズが可能です。また、データをエクスポートし、スプレッドシート等での加工も容易です。

< IMS Problem Investigator の機能ハイライト >

- IMSログ、CQSログ、IMS モニターログ、IMS Connect Extensions ログを入力とし、強力なナビゲーション機能により、必要な情報をすばやく抽出・表示する、問題判別ツールです。
- ISPFダイアログでログをフォーマットし、フィールドレベルで個々にわかりやすく表示します。
- オフセットでなくフィールド名による条件指定が可能で、複合条件により必要なログのみの選択が可能です。
- IMS Sysplex をサポートし、各IMSのログをマージしてシングル・ビューを提供します。

【対象製品】

- IMS V8 以降
- IMS Performance Analyzer V4.1 (5655-R03)
- IMS Problem Investigator V2.1 (5655-R02)

●会社名、製品名およびサービスは、それぞれ各社の商標または登録商標です。●掲載された情報は 2008 年 3 月現在のものです。事前の予告なく変更する場合があります。

●TEC (Technical Exploration Center) ではSW導入ご検討のお客様へデモや体感ハンズオンセミナーを実施しています。

日本アイ・ピー・エム株式会社 ソフトウェア事業

本デモに関するお申込・お問い合わせは弊社担当営業にご相談下さい。

<TEC#z015>

Technical Exploration Center